わたしの夢

柔軟に対応できる カリスマ店員になりたい

川俣高校3年 安部 紗希（さき）

わたしの夢は、顧客一人ひとりのニーズに合わせたサービスを提供できる店員になることです。私がサービス業で働きたいと思うようになったきっかけは、もともと飲食店でアルバイトをしていた時に、お客様から「とても美味しかったよ」と言われ、とても嬉しく「将来はお客様と直接関わることのできる環境で働きたい」と思うようになりました。高校では生徒会とクラスルーム長を3年間務めてきましたが、クラス全体の意見を聞いてまとめたり、イベントの企画や仕事の分担などを率先して行ってきました。生徒一人ひとりの意見を聞いて企画を考えたり、少人数の中で仕事の分担をすることは大変なこともありましたが、その分やりがいも感じることができました。就職先では地域ごとに商品ニーズや販売量が大きく異なると聞いているので、商品の特徴とその地域のニーズについてしっかりと理解し、地域に合った商品棚づくりや商品開発を行っていきたいと思います。

町長のひとこと vol.19

今回は「かわまた民話の会」会長の遠藤貴美子さん（山木屋）を訪問しました。民話の会は、平成20年に設立されて今年で14年目になるそうです。この会のスタートは「うつくしま未来博」開催時に福島「民話茶屋の会」で学ばれた高橋照子さん（本町）らの呼びかけにより、川俣の各地域に昔から語り伝えられた民話や歴史などを学習し現代に語り継いでいこうということで活動が始まったそうです。その後、会員を募り、昔話「嫁と姑女」「小神の泥地蔵」など『川俣の昔ばなし』（川俣町教育委員会発行）を教材として、現在7名の会員で毎月2回、第2・第4木曜日（午後1時30分～3時30分）に練習しているそうです。発表の場は、町内の福祉施設、町内のサロンや幼稚園等へのボランティア活動を行っていますので、興味ある方は是非参加してみてはいかがでしょうか。

毎月1日発行 令和4年11月1日発行

編集・発行 川俣町役場総務課文書広報係 〒960-1492 川俣町字五百田30 TEL 566-2111（代） ■今月の広報かわまたの印刷経費は1部90円です。
印刷・製本 株式会社川俣活版所